

TOTO

フラッシュバルブ


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




1




安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)



取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

 注意	
	<p>強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> <p>本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけないでください。 洗浄機能への悪影響や水漏れのおそれがあります。</p>
	<p>この説明書に記載された項目以外は分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p>

 注意	
 必ず実行	<p>フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターを取り出さずに、止水栓を閉めてから行ってください。</p> <p>水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>めっきされた部分にモンキーレンチなどを用いる場合は、めっきを傷付けないように必ず布片をはさんでください。</p> <p>めっきがはがれ、けがをするおそれがあります。</p>

2

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa(流動圧) ※ブローアウト便器(C454PV)または壁掛サイホン便器(C550)とセットの場合は0.1MPa ※低圧形フラッシュバルブの場合は0.04MPa
	最高水圧	0.75MPa(静水圧) ※低圧形フラッシュバルブの場合は0.1MPa
給水接続部		25A以上(ねじサイズR1またはRc1)
使用環境温度		1~40℃
使用可能水質		水道水

3

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

フラッシュバルブ本体		
<p>一般形</p> <p> 節水形フラッシュバルブ 普通形フラッシュバルブ </p> <p> 本体カバー (節水形の場合のみ) 止水栓カバー (節水形の場合のみ) 低圧形フラッシュバルブ </p>		
<p>押ボタン形</p>	<p>リモコン形</p> <p> 節水形フラッシュバルブ 普通形フラッシュバルブ </p> <p> 止水栓カバー (節水形の場合のみ) 本体カバー (節水形の場合のみ) </p>	
操作弁部		その他
<p>押ボタン弁</p>	<p>足踏弁</p>	<p>取扱説明書</p> <p>施工説明書</p>

※操作弁部はTS14型・TS74型の場合のみ同梱です。その他の品番は、操作弁部を別途手配してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

4

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

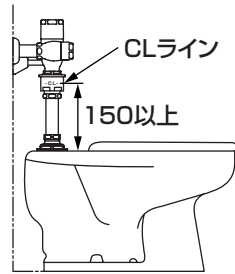
フラッシュバルブ本体	
<p>TV750型 TV150型</p>	<p>TV740型 TV140型</p>
<p>TV752型 TV152型</p>	<p>TV170型</p>
操作弁部	
<p>足踏式タイプ</p>	<p>押ボタン式タイプ</p>

5

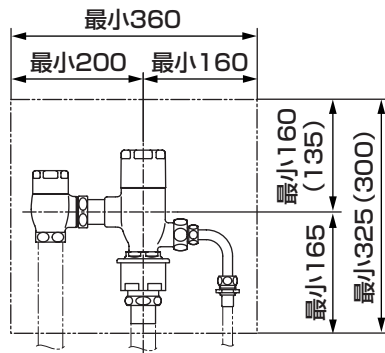
取り付け前に

●フラッシュバルブ本体は、水量調節ねじが必ず上にくるように垂直に取り付けてください。横向きになると、正常な機能を発揮しないことがあります。

●バキュームブレーカー側面のCLラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。(右図参照)
 ※CL (Critical Installation Level) とはバキュームブレーカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。



●本体を壁内などに設置する場合は、保守点検のために点検口を必ず設けてください。(点検口の最小寸法は右図を参照してください)



※ () 寸法はTV740E型の場合

●給水は水道水に接続してください。井戸水・再生水・雑用水・温泉水・海水は使用できません。水道水以外を使用する場合の情報は下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

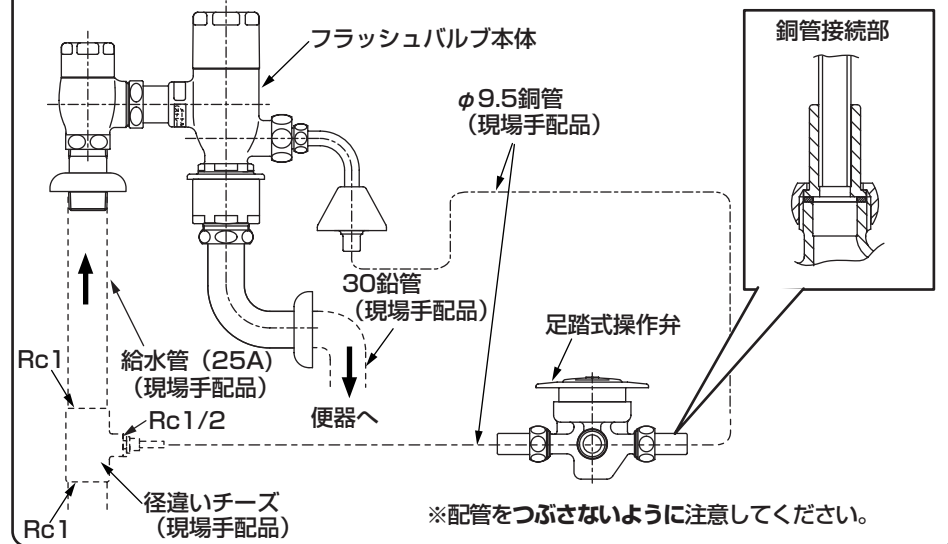
リモコン形の場合

●施工前には別売の操作弁および下記部品(現場手配)が必要です。

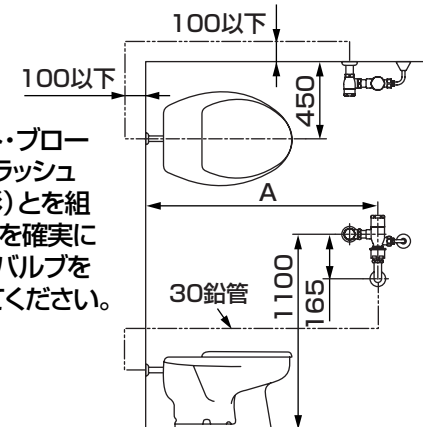
リモコン形配管図 を参照のうえ、施工前に用意してください。

- ・φ9.5銅管
- ・30鉛管
- ・径違いチーズ
- ・給水管(25A)

リモコン形配管図



●サイホン・サイホンゼット・ブローアウト便器とリモコンフラッシュバルブ(壁給水壁排水形)とを組み合わせる場合は、便器を確実に洗浄するためフラッシュバルブを右図寸法内に取り付けてください。



大便器品番	A寸法
C21N	960
C426	980
C480A	
C480S	
C454PV	930
C550RU	1000
C111	
CU714V	
C743PVS	950

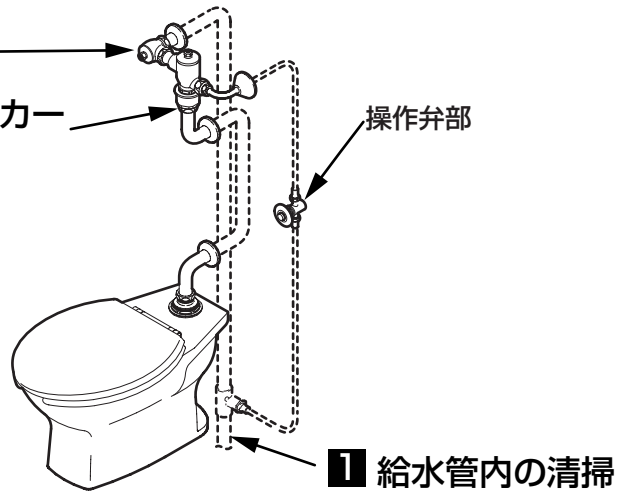
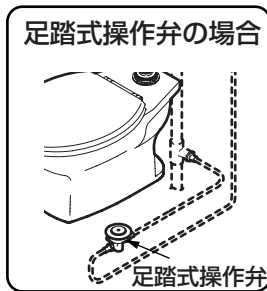
●足踏弁(または押ボタン弁)を埋め込む際は、床(または壁)の仕上面に注意してください。

●足踏弁配管の際は、給水と直角方向の排水口に水抜配管を接続してください。

●押ボタン弁の場合は、付属の樹脂製短管をプッシュ部にはめて埋入作業を行い、壁面の仕上げが終わったあとに短管を除いてフランジをセットしてください。

2 給水管の接続

3 バキュームブレーカーの取り付け



1 給水管内の清掃

1 給水管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

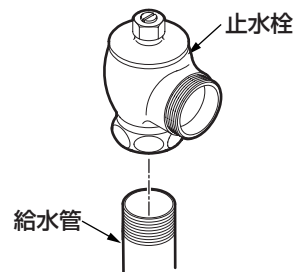
重要

2 給水管の接続

① 給水管を所定の位置に取り付ける。

② 止水栓をフラッシュバルブ本体から取り外し、①で取り付けした給水管に取り付ける。

この時、袋ナット部のパッキンを紛失しないように注意してください。



3 バキュームブレーカーの取り付け

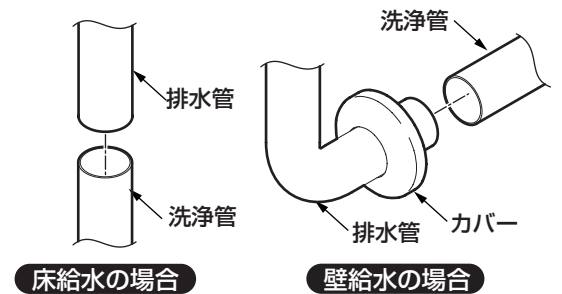
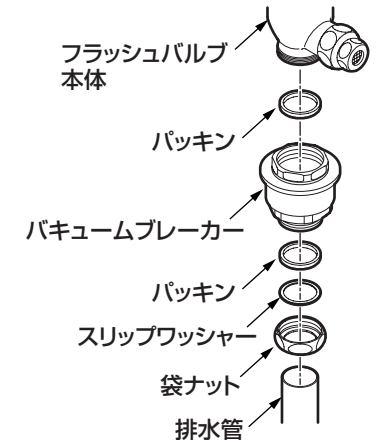
① 洗浄管を所定の位置に取り付ける。

② バキュームブレーカーをフラッシュバルブ本体に取り付ける。

③ 付属の排水管にバキュームブレーカーの袋ナット・スリップワッシャー・パッキンを挿入し、バキュームブレーカーに取り付け、袋ナットで締め付ける。

④ 付属の排水管にカバーを挿入する。

⑤ 付属の排水管を①で取り付けした洗浄管に取り付ける。
※排水管が長い場合は切断し、調節してください。



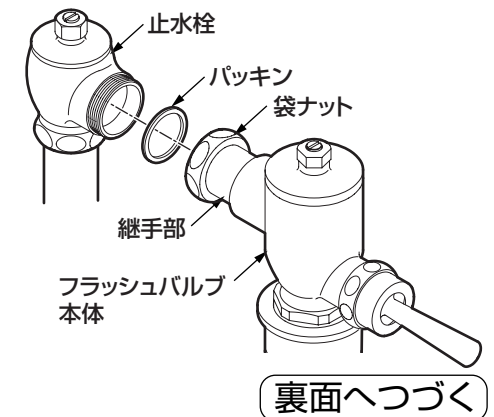
床給水の場合

壁給水の場合

⑥ フラッシュバルブ本体の接続部にパッキンを入れ、止水栓を取り付け、袋ナットで締め付ける。

注意

必ずパッキンが入っていることを確認してください。



7

施工後の調節

水勢および吐水量の調節

水勢の調節

フラッシュバルブは水圧の高低によって水勢が変わります。水勢が強すぎると水飛びを生じたり、洗浄音が高くなったりします。また水勢が弱すぎると、十分な洗浄ができませんので、止水栓の開閉ねじで調節を行ってください。

時計回り…水勢が弱くなります。
反時計回り…水勢が強くなります。

※節水形フラッシュバルブは止水栓カバーを取り外すと開閉ねじがあります。

水量の調節

水量の調節をするときは本体カバーを外し、水量調節ねじで行ってください。

時計回り…吐水量が減少します。
反時計回り…吐水量が増加します。

※節水形フラッシュバルブは本体カバーを取り外すと開閉ねじがあります。

●節水形フラッシュバルブの場合

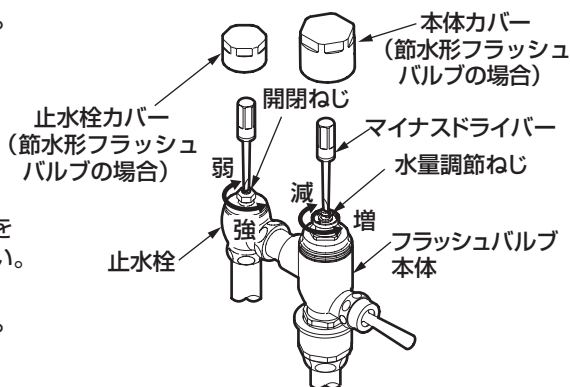
大便器の標準洗浄水量は次のとおりです。

洗浄様式	標準洗浄水量
洗出し式	11L (注1)
洗落し式	13L (注2)
上記以外	13L (注2)

※一部の便器は標準洗浄水量が左記と異なりますので、カタログ表記もしくは便器の注意書に表記している洗浄水量を確認のうえ調節を行ってください。

(注1) C14系は10Lに設定してください。

(注2) C21N、CS210CN系、C480系、C550系、C743系、C426系は10Lに設定してください。

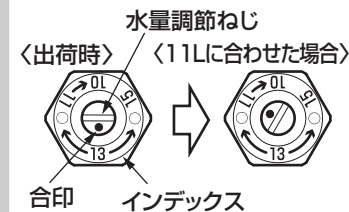


大便器の洗浄様式に合わせて、次の要領で吐水量を調節してください。

① 本体カバーを取り外す。

●出荷時は右図のようにセットされていますので、水量調節ねじを矢印方向に回転させインデックスに表示の吐水量を示す数字に合印を合わせてください。

●インデックスに表示されている数字は、吐水量の調節が容易にできるように表示した目安です。したがって正確な吐水量を表わした数字ではありません。

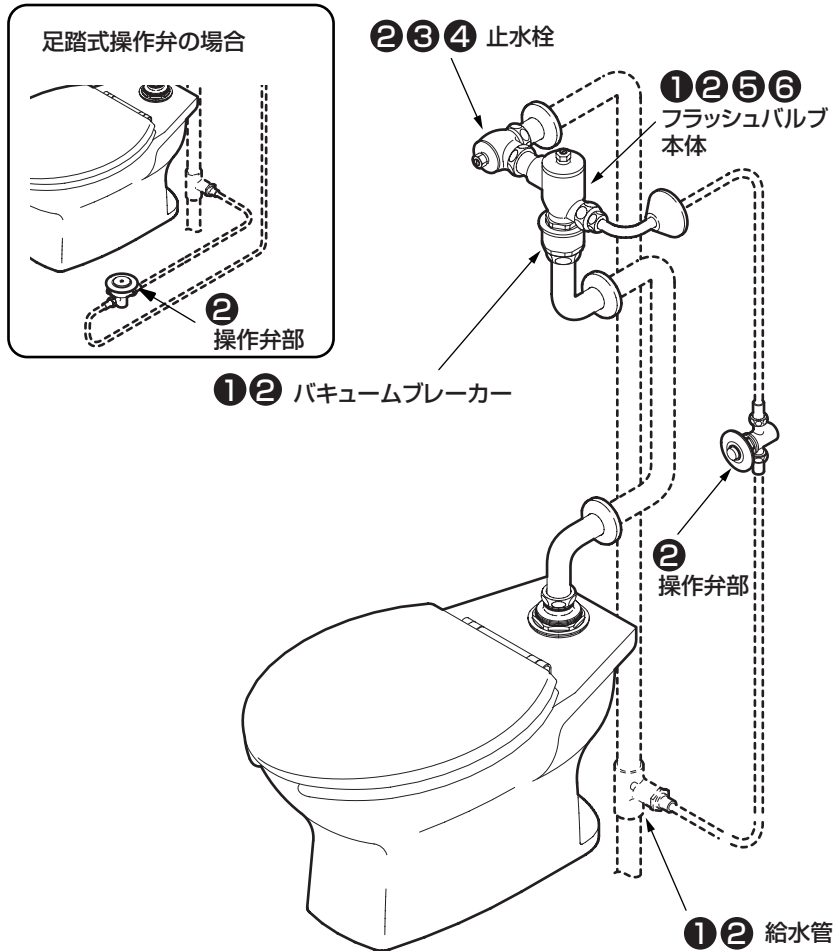


② 合印を合わせたあと、ハンドルを操作して確実に洗浄できるか確認する。

③ 洗浄の確認が終わったら本体カバーをねじ込み、十分締め付ける。

※標準調節吐水量で洗浄が不完全な場合は、水量調節ねじで、吐水量をさらに適正に調節してください。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① フラッシュバルブ本体はしっかり取り付けられていますか？

- ↳ ⑥ - ②「給水管の接続」参照
- ↳ ⑥ - ③「バキュームブレーカーの取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

② 止水栓部および各連結管部の水漏れはないですか？

- ↳ ⑥ - ②「給水管の接続」参照
- ↳ ⑥ - ③「バキュームブレーカーの取り付け」参照

流量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は次の項目を確認してください。

③ 止水栓は開いていますか？

- ↳ ⑦「施工後の調節」参照

④ 洗浄水量は正しく設定されていますか？

- ↳ ⑦「施工後の調節」参照

⑤ ピストンバルブのフィルター・小穴のごみ詰まりはないですか？

- ↳ フィルター・小穴の掃除をする。
※取扱説明書「日ごろのお手入れ」参照

⑥ 異常な音はありませんか？

- ↳ フィルター・小穴の掃除をする。
※取扱説明書「日ごろのお手入れ」参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡してください。

再生紙を使用しています。